

彼方小だより

家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年7月号

「やっと・・・」

校長 藤井 貞彦

「うわー ヌルヌルや〜」(田んぼってというのは、そういう所やで)

「カエルや〜 助けて〜」(そら田んぼやからカエルはおるよね)

心の中でツッコミを入れながら、子どもたちの楽しそうな様子を見ていました。

6月22日、約2カ月続いた緊急事態宣言が解除された翌日、地域の田んぼで5年生が「田植え」をさせていただきました。初めてのことで戸惑っていた子どもたちも次第に上手になり、楽しい体験をさせていただきました。まだまだ制限は多いですが、やっと校外での学習ができるようになりました。直接ご指導いただいた「根っ子の会」のみなさんや市役所の担当の方々、会館を貸していただいた嬉町会のみなさん等、多くの方のご厚意で実施することが出来ました。本当にありがとうございました。



その後、6月25日(金)には3年生が「校区たんけん」で石川の河川敷、春日神社、滝谷公園をめぐるしました。私も同行しましたが、子どもたちはグループで声をかけあい、地域の特徴を見つけ、タブレットを使って記録していました。昨年、「お不動さん」(滝谷不動の例祭)に行った時よりも格段に成長している姿を目の当たりにして、うれしい気持ちでいっぱいになりました。(河川敷や滝谷公園ではみんなで楽しく遊んだね。少し羽目を外していた子もいたけれど、久しぶりで興奮して当たり前、みんな無事でホンマに良かった〜)

その「お不動さん」には6月28日(月)に1・2年生が出かけました。心配された天気も曇り程度の絶好の条件で行くことが出来ました。子どもたちはグループに分かれてお店(露店)での買い物を楽しみました。2年生は、その上にお店の人にインタビューをしたり、タブレットでその様子を撮影したりと盛りだくさんの内容でした。

「校長先生、〇〇買ってんで〜」(大判焼き、玉こんにゃく、豆、じゃこ、その他いろいろ)

「お店の人におまけしてもらってん。」(「孫みたいなものやからな〜」とお店の方もうれしそうにおっしゃっていました。) そんな中で、何人かの子どもたちの買い物袋の中に「花の苗」があったので「これ育てるのかな?」と聞いてみました。すると、ほとんどの子は「ママにあげるねん。」(なぜか、みんなママ…)と少し照れくさそうに答えてくれました。アジサイ、ダリア、観賞用トウガラシ、サボテン等、自分の小遣いで買えるもので、家族が喜んでくれる物を一生懸命考えたんでしょう。その姿を想像すると少し胸が熱くなりました。



わずか1週間でしたが、子どもたちの成長を実感するとともに、ご家庭や地域の方々に支えられて教育活動を進められていることを改めて感じました。

今後も出来る範囲で、学校では経験できない学習を積極的に進めていきたいと考えています。子どもたちの更なる成長のために、温かいご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。